

東京

TOKYO

とうきょう支局

〒100-8051

千代田区一ツ橋1の1の1

03・3212・5185 FAX03・3212・5186

tokyo@mainichi.co.jp

多摩総局

〒190-0022

立川市錦町1の1の24

メゾンヨコカワ2階

042・527・5050 FAX042・527・5051

tachikawa@mainichi.co.jp

八王子支局 042・656・1191

購読・配達は

☎0120・468・012

6～20時、日・祝日は6～17時

広告・折込は

毎日広告社 03・3213・3721

毎日広告社 多摩武蔵野営業所

042・522・6121

毎日折込 03・3208・8611

心の病 必要な支援知って

交通事故で長男亡くしPTSD発症

交通事故に遭った長男(当時18歳)が14カ月にわたり意識を回復しないままとなり、現在は事故被害者らの支援活動を行う岸浩美さんが9月14日、千代田区内で講演する。

岸さんは長男の死去後、PTSD(心的外傷後ストレス障害)などを発症し、社会復帰まで11年かかったという。一般の人に向けて講演するのは初めて。「自分の体験を通じ、心を病む当事者にとり必要な支援がどのようなか知ってほしい」と話す。

長男は2005年、バイクを運転中にトラックと出会い頭に衝突し、頭を強く打ち救急搬送された。一命を取り留めたが意識は戻らず、自力での移動や摂食、意思表示ができない「遷延性意識障害」と診断された。岸さんは長男の介護や裁判などの対応に追われ、

千代田で来月14日 岸さん講演

07年に長男が亡くなると、うつ病やPTSDを発症した。

カウンセリングなどを通じ、自分の心の中で何が起きているのか知りたいと思うようになり、認定心理士の資格を取得。被害者支援のために福祉制度も学び、社会福祉士、精神保健福祉士の資格も取った。現在はNPO法人「交通事故後遺障害者家族の会」の理事・相談員として活動している。

講演会は東京、神奈川、千葉、埼玉在住者らでつくる「脳損傷による遷延性意識障がい者と家族の会」わかば」などが主催(毎日新聞社後援)し、千代田区平河町2のJA共済ビルで午後1時半から。参加費無料。オンラインでも視聴できる。事前申し込み(9月7日締め切り)が必要で「わかば」の公式ホームページ参照。【浜田石洋史】